

# 第1学年音楽科学習指導案

## 1 題材「クラスのイメージソングをつくろう」

### 2 題材の指導目標

- 旋律や音楽をつくることに関心を持ち、歌詞のイメージを膨らませながら意欲的に創作の活動に取り組もうとしている。
- 言葉の抑揚やリズムの特徴を感じ取りながら音高やリズムを工夫して旋律をつくり、旋律を反復、変化、対照させて音楽の構成を工夫し、まとまりのある音楽を構成しようとする。

### 3 題材の指導計画

	学習活動	創作の内容	創作の活動	教師の支援
一 時	1. クラスのイメージソングの歌詞を考える 2. 第一連の歌詞に合う旋律をつくる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">音づくりの内容</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスのイメージソングの旋律をつくる</li> <li>・クラスのイメージソングの第一連の歌詞に、音の高さやリズムを工夫して、声のための旋律をつくる</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">簡単な旋律をつくる活動</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉の抑揚やリズムを手掛かりにしたクラスのイメージソングの歌詞に合った旋律づくり</li> <li>・クラスのイメージソングの歌詞をつくる</li> <li>・歌詞のもつ言葉の抑揚やリズムの特徴をつかみ、旋律線を図形楽譜に記録する</li> <li>・つくった旋律線に階名をあてはめ、旋律を完成させる</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">音づくりに関する支援</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞にあてはめるリズムパターンの例を提示する</li> <li>○ 言葉の抑揚やリズムをつかみ、図形楽譜に記録する手順を教師が示す</li> <li>○ 鍵盤で実際に音を鳴らし、イメージした音の高さと階名とを対応させる</li> <li>○ 言葉の抑揚やリズムをもとにした旋律の例を、教師が即興でモデル演奏して示す</li> </ul>
	3. グループで集まって、お互いのつくった第一連の旋律を聴き合う 4. グループで協同して第一連の歌詞・旋律を決め、その歌詞・旋律をもとに第二連から第四連の歌詞をつくる 5. 全体の構成を考えながら、第二連から第四連までの歌詞に合う旋律をグループで協同してつくる 6. 時間のまとめとして、グループでつくった音楽の中間発表をする	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">音楽づくりの内容</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスのイメージソングの音楽をつくる</li> <li>・クラスのイメージソングの第二連から第四連の歌詞に、第一連の旋律を反復、変化、対照させて構成を工夫しながら、声のためのまとまりのある音楽をつくる</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">反復・変化・対照などの構成を工夫しながら音楽をつくる活動</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旋律を反復、変化、対照させて構成を工夫したクラスのイメージソングの歌詞に合った音楽づくり</li> <li>・クラスのイメージソングの歌詞を完成させる</li> <li>・歌詞の内容や、つくる音楽のイメージに沿って、旋律を反復、変化、対照させながら音楽の構成を工夫し、まとまりのある音楽をつくる</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">音楽づくりに関する支援</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 起承転結にもとづいた歌詞の形式を提示する</li> <li>○ 音楽の仕組みにもとづく旋律操作や、音楽の構成の手法について提示する</li> <li>・「同じ旋律」「似た感じの旋律」「性格の異なる旋律」</li> <li>・「続く感じ」「終わる感じ」</li> <li>○ 歌詞内容や音楽のイメージにもとづいた音楽の構成について助言する</li> <li>○ 旋律の操作の手法、音楽のつなぎ方やまとめ方について、具体的な手順を教師が即興でモデル演奏して示す</li> </ul>
三 時	7. グループでつくる音楽を仕上げる 8. グループごとにつくった音楽を聴き合い、音楽づくりの発想・アイデアを深め合う			

#### 4 本時 (2 / 3 )

##### 1) 本時の目標

- 歌詞のイメージを膨らませながら、旋律や音楽をつくることに関心を持ち、意欲的に創作活動に取り組もうとしている。
- 言葉の抑揚やリズムを手掛かりにしてつくった旋律をもとに、旋律を反復・変化・対照させて音楽の構成を工夫し、まとまりのある音楽を構成している。

##### 2) 準備 キーボード、ワークシート、楽譜記録用紙

##### 3) 展開

学習活動	創作の内容	創作の活動	教師の支援・◇評価
<p>1 前時でつくった旋律をグループで集まってお互いに聴き合い、グループでの音楽づくりで用いる旋律を、聴き合った中から一つ選ぶ。</p> <p>○ 旋律づくりにおいて、音高やリズムの変化のような音楽を形づくっている要素の働きを工夫することのよさに気付くこと</p>	<p>○クラスのイメージソングの旋律をつくる</p>	<p>・つくった旋律を聴き合い、創作の発想やアイデアを深める</p>	<p>・工夫した点の聴き合いや発表の視点を、音の高さやリズムの変化など音楽を形づくっている要素と関連付けさせる。</p>
<p>めあて：クラスのイメージソングの音楽をつくろう</p>			
<p>2 グループで選んだ第一連の歌詞をもとに、第二連から第四連の歌詞をグループで話し合って決める。</p> <p>3 グループで選んだ第一連の旋律をもとに、第二連から第四連の旋律をグループで協同して作り、まとまりのある音楽を構成する。</p> <p>(1) 第一連の旋律をもとに、その旋律を反復、変化、対照させるなどして新しい旋律をつくる</p> <p>(2) 歌詞の抑揚やリズム、歌詞や音楽の構成をもとに、旋律の手直しをする。</p> <p>(3) 全体の構成を感じ取って旋律を組み合わせながら、まとまりのある音楽を構成していく。</p> <p>○ 旋律を反復、変化、対照させるなど、音楽の仕組みを活かして表現を工夫すること</p> <p>○ つくる音楽の全体の構成をもとに歌詞や音楽の流れにあった旋律を組み合わせ、音楽の構成を工夫すること</p>	<p>○クラスのイメージソングの音楽をつくる</p> <p>・旋律を反復、変化、対照させて新しい旋律をつくる</p> <p>・音楽の流れを感じ取り、音楽の構成を工夫してまとまりのある音楽をつくる</p>	<p>・クラスのイメージソングの歌詞を完成させる</p> <p>・歌詞の内容や構成、歌詞の持つイメージによって、どのような音楽の構成で旋律を反復、変化、対照させるかを考える</p> <p>・第二連や第四連などに対して、第一連の旋律を反復させたり、「続く感じ」や「終わる感じ」の旋律に変化させたりしながら、反復、変化を工夫した旋律をつくる</p> <p>・第三連などに対して、第一連の旋律の音の高さ(高低)や旋律の流れ(上行と下行)を対照させながら、対照を工夫した旋律をつくる</p> <p>・音楽の流れを感じ取って旋律の組み合わせを考え、音楽の構成を工夫する</p>	<p>・つくる音楽の構成を考えながら、起承転結の四連から構成される歌詞づくりをさせる。</p> <p>・音楽の構成に合わせた旋律づくりの工夫について、歌詞やつくる音楽の構成から、音楽の仕組みをどのように用いて旋律をつくるか考えさせる。</p> <p>「同じ旋律(反復)」 「似た感じの旋律(変化)」 「性格の異なる旋律(対照)」</p> <p>・音楽の構成における旋律のまとまりや音楽の構成について工夫する視点を示唆する。</p> <p>「続く感じ(の旋律)」 「終わる感じ(の旋律)」 「音楽の始まり方、終わり方」</p> <p>・生徒に提示した音楽の仕組みや構成原理について、生徒がつくっている過程の素材をもとに教師がその場でつくってみせ、その違いを例示する。</p> <p>◇音楽を構成することに関心をもって活動に取り組んでいる</p> <p>◇旋律を反復、変化、対照させて、音楽の構成にあった旋律をつくっている</p> <p>◇音楽の構成を工夫し、まとまりのある音楽をつくっている</p>
<p>4 グループごとに、つくっている途中の音楽を中間発表する。</p> <p>○ 音楽を構成する仕組みや構成原理の特徴やよさを感じ取ること</p>		<p>・つくった音楽を聴き合い、創作の発想やアイデアを深める</p>	<p>・互いのグループの発表を、音楽の仕組みが活かされているか、音楽の構成が工夫されまとまりのある音楽として感じ取られるかという点から聴き取らせる。</p>